

医療情報標準化推進協議会理事会  
平成 15 年度第 1 回理事会、総会議事録

日 時 2003 年 7 月 4 日(金) 15:00-16:45

場 所 MEDIS 会議室

出席者 理事；辻、喜多、根岸(MEDIS)、大江、豊田(JAMI)、尾崎、篠田(JAHIS)、  
石垣、稲邑、安藤(JRS)、梅田、奥田(JSRT)、大林、西原、細羽(JIRA)  
監事；大林(JIRA)、飯山(JSRT)  
正会員；蛭名(HL7)  
オブザーバ；飯田(JAHIS)、関(厚生労働省)、奥(埼玉医大)、渡辺(東大)  
事務局；加藤、岡峯(MEDIS)

議 題

1. 出席理事および議決権行使理事の確認(資料 1)
2. 前回理事会(2002.7.2)の議事録確認(資料 2)
3. 役員人事について(資料 3)
4. 標準化指針および標準化レポートへの提案申請について
  - (1)標準化医薬品マスター(HOT 番号) (資料 4)
  - (2)JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.2.0(資料 5)
  - (3)JAHIS 臨床検査データ交換規約オンライン版(資料 6)
  - (4)20XX 版 DICOM 規格(資料 7)
5. 平成 13 年度収支決算報告書(案)について(資料 8)
6. 平成 14 年度事業報告／収支決算報告書(案)について(資料 9)
7. 平成 15 年度事業計画／収支予算(案)について(資料 10)

【配布資料】

- 資料 1 幹事会員及び理事名簿
- 資料 2 平成 14 年度第一回理事会議事録
- 資料 3 理事・監事の異動(案)
- 資料 4 標準化指針 HS001 標準化医薬品マスター(HOT 番号)
- 資料 5 標準化指針 JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.2.0
- 資料 6 標準化指針 JAHIS 臨床検査データ交換規約オンライン版
- 資料 7 20XX 版 DICOM 規格申請書
- 資料 8 平成 13 年度収支決算報告書(案)
- 資料 9 平成 14 年度事業報告／収支決算報告書(案)
- 資料 10 平成 15 年度事業計画／収支予算(案)

参考資料 1 医療情報標準化推進協議会会則

参考資料 2 「医療情報標準化指針」提案申請に関するルール

## 議事内容

### 1. 出席理事の確認。

出席理事数の確認がされ、定足数を満たし、理事会の成立している旨が確認された。

### 2. 前回議事録の確認。

資料のとおり承認された。

### 3. 役員の変動。

役員の変動について原案のとおり承認された。

### 4. 提案申請について

- ・受付番号 001「標準医薬品マスター(HOT 番号)」は、提案申請に関するルールに基づき5月23日に採択され、ホームページに掲載されていることが報告された。
- ・受付番号 002「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver2.0」、受付番号 003「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver2.0」は、理事会 ML で採択され、現在正会員の審議中であると報告された。
- ・受付番号 004「20XX 版 DICOM 規格」は、喜多委員長より審議の進捗状況が説明された。提案規格案名について、2003 版と明記したほうが混乱が起きないのではないかとの意見が出された。DICOM 規格は毎年見直されており、小さな変更がある。小さな変更であればその都度審議する必要はなく自動更新とし、それをどのように表現するかを検討する必要がある。提案規格案名は「DICOM 規格」とし、対象は 2003 全般であることを特記欄に明記してはどうかということになったが、引き続き委員会で提案規格案名および適切な表現について審議することとなり、提案者より検討のうえ、委員会に再提出することになった。

### 5. 平成 13 年度収支決算報告書について

事務局より説明があった。また、大林監事より監査報告があり承認された。

### 6. 平成 14 年度事業報告・収支決算報告について

大江会長より事業報告の説明があった。引き続き収支決算報告書について事務局より説明があり、大林監事より監査報告があり承認された。

## 7. 平成 15 年度事業計画と収支予算について

大江会長より事業計画について説明があり、以下のような提案や意見が出された。

### ・ 広報活動

各団体の提案申請を審査をするだけでなく、HELICS 協議会の活動報告を外部団体に対して認知させる。具体的には、採択した標準化指針や HELICS 協議会の PR を幹事会員の会誌などに掲載し、新聞広告などメディアの活用についても検討したらどうか。また、報告書、パンフレットなどを作成し、各団体に送付したらどうかという意見が出された。

広報担当が必要ではないかという意見が出された。

### ・ 調査活動(情報収集)

他領域にどういう標準化があるのか調査し、隠れたニーズを取り上げて議論する。隠れた標準をスクリーニングすることを、重点にしたらどうかとの意見が出された。

### ・ 関連他団体入会のアプローチ

具体的には、日本診療録管理学会に入ってもらってはどうかという提案があり、担当を決めて働きかけることになった。また、日本医師会に働きかけてはどうか提案があったが、標準化活動をしている団体となるかどうかも含め、慎重に検討していくことになった。

### ・ シンポジウム、セミナーの開催

採択した標準化指針を公表するシンポジウムやセミナーを開催する。

具体的には、11 月の医療情報学連合大会時にシンポジウムを考えている。また、セミナー(関西・関東)を企画することになった。

### ・ 医療情報標準化レポートの作成

標準医薬品マスター、JAHIS 交換規約についてレポートを作成する。

### ・ 幹事会員からの提案規格

幹事会員でまだ提案企画の出していない団体については、提案申請をお願いした。

MEDIS からは病名マスタの提案を、日本総合健診医学会からは HTML 版の交換規約の提案を近々行う予定である。

### ・ 旅費について

現在は手弁当であるが、次年度繰越金も十分にあることから、旅費の支給についても検討したらどうかという意見が出された。

### ・ 収支予算については、上記の事業計画を踏まえ練り直すこととなった。

具体的には、広報活動費、調査活動費、レポート指針の印刷費、セミナー開催費を追加し、年会費の 75%~80%をこれに充てるものとする。また、次年度繰越金の一部は新規事業準備金としてはどうかの提案があった。